

中井だより

中井やまゆり園

Chance Change Challenge

生活第二課 秋寮長 長谷川 幾美

生活二課においては、今年度目指す方向として『利用者一人ひとりの暮らしを豊かにする』『利用者の望む生活を実現する』と定めたことをきっかけに、4月以降いくつもの新たな取り組みが始まり、日課・寮内環境・日中活動の内容等多くの変化がありました。当初、混乱により不安定になる方等が増えることを想定していましたが、それは見事に裏切られました。むしろ、これまでの環境では見られなかった表出（表情、態度、行動等）や、様々な自己アピール（自室に掃除機をかける、曲が流れると自然と踊りだす、受注作業に生き生きと取り組む…）があります。利用者の皆さまの様子や変化に、職員も喜びを感じるとともに、「もっと本人のことを知りたい」「本人の過去の様子を知っている方に話を聞いてみたい」「興味・関心を広げたい」等々の思いが強くなり、モチベーションもあがり、日々様々な支援アイデアがあがってきています。

当然、個別支援計画にも変化が見られています。新たに見えてきた、好きなこと・得意なことを活かし、それらをもっと広げられるよう社会経験を積むために、地域とのつながりを意識した将来像が描かれ、具体的で個々に応じた、素敵な取り組みが始まっているのです。

それでもなお、現状に満足できる状況とはいえず、新たな挑戦は日々続いています。なぜならば、利用者の皆さんは変化を受け入れる力を持っており、可能性は無限であることがわかったから。利用者の皆さんとともに、職員も経験を積み、まだ我々が気づいていない力を発揮する場を見出し、広げていきたいと思えます。

新生中井やまゆり園

生活第三課 星寮長 菊池 賢治

あらためて皆様にご挨拶申し上げます、さがみ緑風園から今年4月に星寮長として着任いたしました菊池賢治です、よろしくお願いいたします。

今年も早いもので師走に入りましたが、振り返ると4月から今日まで、あっという間の中井勤務でした。目まぐるしい毎日の中、私の神奈川県福祉職スタートの地でした津久井やまゆり園の事を思い出すことがあります。あのような悲しい事件から、芹が谷と津久井の地に、新生津久井やまゆり園として新たなスタートを踏み出していますが、私が新人職員として勤務していた平成5年当時は、支援技術や方法論として、構造化やティーチングなどが盛んに取り入れられ、先輩について研修に参加していたことが思い出されます。

津久井勤務時代に学んだことや経験したことと、中井勤務では違うことも多く戸惑うこともありますが、ある意味、毎日が勉強だと思えると楽しく感じることもあります。

今、中井やまゆり園も大きな岐路に立ち、「新生中井やまゆり園」に向けて前進中だと思います。寮内や日中活動など園内全ての業務が、各寮、各部署で改変され、困難な課題も山積していますが、全職員は懸命に前に向かって進んでいます。

今はまだ道半ばですが、いつか「中井やまゆり園は変わったんだね」と皆様から言ってもらえる日を目指して、そして皆さんの笑顔を増やすために一歩ずつ前に進みたいと思えます。これからもよろしくお願いいたします。